

わが家をいつまでも快適に！ 誌上メンテナンス講座

Vol.
39

バックナンバーは
OWNER'S WEBで!!

≫ 01 洋室ドアを元の位置に戻す方法

≫ 02 吊引戸を元に戻す方法

≫ 03 キッチン収納扉を元の位置に戻す方法

洋室ドアや吊引戸、収納扉は経年の使用により、扉の傾きやレバー・ハンドルのゆるみなどが起きる場合があります。そんな時は、ドライバーが1本あればオーナー様ご自身で直すことができます。今回は、洋室ドア、吊引戸、収納扉を中心にご自身でメンテナンスする方法をご紹介します。いつまでも快適にすごせるわが家のために、気になるところをこまめにメンテナンスしましょう。



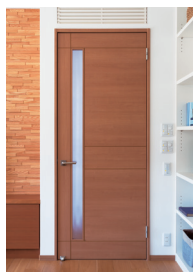
【技術監修】植月 英貴

トヨタホーム アフターサービス
担当DIYアドバイザー



- 脚立をご使用の際は転倒等十分にお気をつけください。
- 各メーカーの取扱説明書や使用上の注意書きを必ずお読みください。

01 洋室ドアを元の位置に戻す方法



一見難しそうに見える洋室ドアの調整ですが、実は簡単な道具のみで手軽に行うことができます。それぞれの調整ネジの役割を把握して、正しい方法で調整しましょう。

- ドライバーを使う際にネジ山をつぶさないように、両手でしっかりとドライバーを持って作業してください。

用意するもの

プラスドライバー、
軍手、脚立

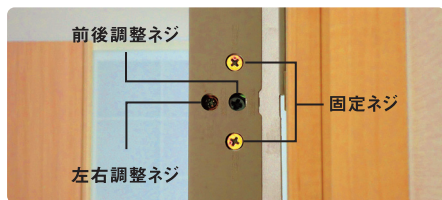
1 ドアがドア枠に当たったりこすれたりする場合に元に戻す方法

ドア枠に当たったり、こすれたりする原因

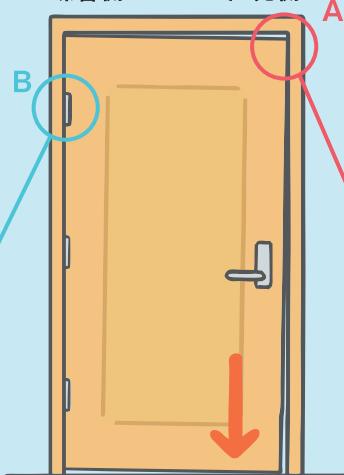
長期の使用やドア自体の重みでドアが右のイラストの矢印の方向へ傾くからです。

② 調整箇所

ドアの傾きを元の位置に戻すにはイラストB部にある蝶番を調整します。



蝶番側 戸先側

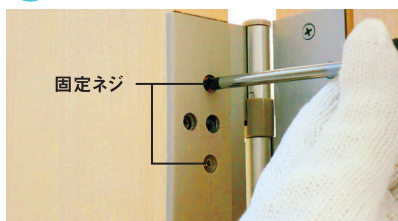


① 傾きをチェック

イラストA部(吊元と逆の部分)のところにすき間が見えたらドアが傾いている証拠です。



1 「固定ネジ」をゆるめる。



上下にある蝶番のうち上の蝶番を調整します。プラスドライバーで蝶番にある2か所の「固定ネジ」をゆるめます。

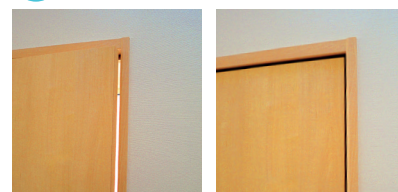
2 「左右調整ネジ」を調整する。



「左右調整ネジ」を調整し、ドアの傾きを直します。「左右調整ネジ」は右に回すとラッチ側、左に回すと蝶番側へドアを寄せることができます。「前後調整ネジ」も同様に。

※調整ネジは一度にたくさん回さないでください。回しすぎるとかえって調整が難しくなります。

3 ドアの閉まりをチェックする。



「固定ネジ」をしっかり締め付け、固定します。調整の都度ドアの閉まり具合を確認。ドアが当たったり、こすれたりしなくなるまで確認しながら①～③を繰り返します。

2 レバーハンドルがゆるんでいる場合に元に戻す方法

1 ゆるみの状態をチェックする。



レバーハンドルがガタガタと動く時は調整を行いましょう。

2 「固定ネジ」をゆるめる。



「固定ネジ」をゆるめて、レバーハンドルをドアの前後からしっかり差し込みます。

※頻繁にゆるむ場合は、ネジのゆるみ止めをホームセンターで購入し、使用してください。

3 「固定ネジ」を締める。



ネジを締め、レバーハンドルがガタガタしなくなったら調整完了です。

3 ドアを閉めた時にガタガタする場合に元に戻す方法

ガタガタする原因

ストライクの中にある受け金具の位置が手前側にずれたため、ラッチとの間にすき間ができるからです。



1 ゆるみの状態をチェックする。



ドアを閉めた時に前後にガタガタするようなら、調整が必要です。

※建替時期によって調整できないものがあります。

2 ストライクの中の金具の位置を元の位置へ調整する。



ストライクの中心部分にあるネジをプラスドライバーで回して調整します。ドアをぴったりと閉めたい場合は、金具を左に動かします。ネジを右に回すと金具が左に動きます。

3 調整完了。



ドアを閉めたときにガタガタしなくなれば、調整完了です。



02 吊引戸を元に戻す方法

長年の使用により、吊引戸と引戸枠の間にすき間ができたり、ソフトクローズ機構の閉じ具合が悪くなったり、錠のロックがかかりにくくなったりと不具合がでた場合は、ほとんどがご自分で調整して直すことができます。

用意するもの

プラスドライバー、
マイナスドライバー、
軍手、脚立

1 吊引戸を開けた際、扉の速さを元に戻す方法

吊引戸を開けた際の衝突音や跳ね返りを抑えるため、速さを調整するブレーキが発生します。



ブレーキ力が強いと扉が早く止まります。



ブレーキ力が弱いと扉が勢いよく開き引戸枠に当たって、扉や枠に傷がつく場合があります。



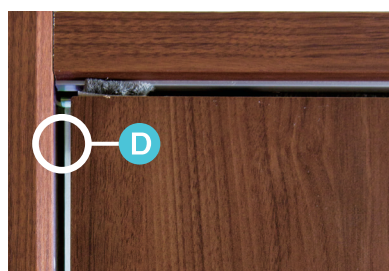
【ブレーキ力の調整位置】
左の写真Aの位置にブレーキ力の調整レバーがあります。



【ブレーキ力の調整方法】
調整レバーの溝にマイナスドライバーの先を入れ、aの方向にスライドさせるとブレーキ力が強くなります。bの方向にスライドさせるとブレーキ力が弱くなります。

※左開きの場合は調整する方向が逆になります。

2 吊引戸のすき間や閉じ具合（ソフトクローズ機構）を元に戻す方法



吊戸を閉じた状態で吊引戸と引戸枠の間にすき間（左の写真④）が見えたら吊引戸が傾いているかもしれません。



吊引戸を閉じる際、吊引戸がゆっくりと自然に閉じずソフトクローズ機構が働かない場合は、吊引戸が傾いている可能性があります。
※ソフトクローズの速度調整はできません。

吊引戸と引戸枠のタテのすき間全体を見て、傾きがないように調整します。



【調整ネジの場所】

上の写真③の部分にあるのが吊引戸の位置を調整するネジです。上が左右調整ネジ、下が上下調整ネジです。

【上下の調整】

プラスドライバーで下のネジを時計回りに回すと扉が上に、反時計回りに回すと扉が下に移動します。

【左右の調整】

上のネジを時計回りに回すと扉が右へ、反時計回りに回すと扉が左へ移動します。

【反対側の調整ネジの場所】

扉の反対側（上の写真③）にも同じように上下左右の調整ネジがあります。

最後に鍵がしっかり閉まるかどうか確認します。

3 錠のロックがかかりにくい場合に元に戻す方法

ロックした状態でガタついたり、ロックがかからない場合は、①②の方法で元に戻してください。



①高さを調整



ストライクの受けの高さ調整
プラスドライバーで下のネジをゆるめるとストライクの受けの高さ（上下）を調整できます。

②奥行を調整



ストライクの受けの奥行の調整
ロックにガタつきが生じた場合、上のネジをゆるめるとストライクの受けの奥行の長さが調整できます。

●ストライクの位置（①高さ②奥行）の調整が終わったら、最後に鍵がしっかりロックできるかどうか確認してください。



スマートフォンやパソコンからオーナーズWebにログインいただくと、「吊引戸の調整・お手入れ動画」をご覧いただけます。